

U.S. Indicators

発表日: 2022年8月5日(金)

減速も供給制約・インフレ圧力緩和の継続(7月ISM製造)

～米国製造業部門の拡大ペース鈍化持続～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治 (Tel: 050-5474-7493)

22年7月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、52.8(前月53.0)と前月比0.2%ポイントの低下にとどまり市場予想の52.0(筆者予想52.2)を上回った。水準では、景気減速、過剰在庫に対する懸念によって新規受注が拡大を示す50を下回ったものの、生産、在庫、入荷遅延が50を上回ったことを背景に、ISM製造業景気指数は50を維持し、米製造業部門の拡大継続が示された。ただし、前月比では、在庫、雇用が上昇した一方、供給制約の緩和で入荷遅延が低下したほか、需要鈍化を受け新規受注、生産が低下する形で、製造業部門はさらに減速した。

7月の構成項目別の変化では、雇用が50を下回ったものの前月から上昇したほか、在庫指数が57.3と1984年以来の高水準に上昇した。一方、入荷遅延、新規受注、生産が低下した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、雇用が前月比+0.52%p、在庫が前月比+0.26%pの押し上げ寄与となった一方、入荷遅延が前月比▲0.42%p、生産が前月比▲0.28%p、新規受注が前月比▲0.24%pの押し下げ寄与となった。

サブ項目では、輸出受注DIが52.6(前月50.7)と上昇し、輸出の加速を示した。一方、輸入DIは54.4(前月50.7)と上昇し、輸入が増加した。仕入価格指数は供給制約の緩和や商品市況の低下によって60.0(前月78.5)と大幅に低下し、インフレ圧力の緩和を示した。

7月の企業からの報告では、需要に関して引き続き前向きな見方が多かった。前向きと慎重なコメントの比率は6対1で前向きな成長コメントの比率が高かった。一次金属は今後改善が見込まれると指摘した。一方、慎重な見方の例として、供給制約による悪影響の報告では、輸送機器が半導体不足のほか、中国のゼロコロナ政策が深刻な供給問題を引き起こしているとの報告したほか、コンピューター・電子機器では、サプライチェーンの混乱や人手不足の問題が続いていることが指摘された。また、一般機械では、新規受注が若干減速したほか、引き続き物流や人手不足が問題となっていること、繊維では継続的なリードタイムの長期化や人材不足で収益が圧迫されていることが報告された。

インフレや景気減速の影響を報告した業種をみると、食品・飲料・タバコがインフレ高進による景気後退を懸念し在庫削減のため発注を控えたこと、化学製品ではインフレによる需要鈍化を受け過剰在庫を懸念していることが報告された。また、非鉄では、リードタイムの長期化、コスト増加によって、大規模なプロジェクトの計画、実行が困難になっているとの見方が示された。プラスチックは受注が高水準も減速の兆しがあること、加工金属はまだ需要が底堅いが、減速が予想されるため、発注に慎重になったことが報告された。

7月は、全18業種のうちアパレル・皮革、非鉄、石油・石炭、印刷・関連サポート活動、コンピューター・電子機器、輸送機器、一般機械、繊維、一次金属、プラスチック・ゴム、電気設備・部品の11業種が拡大したが、6月の15業種から減少した(下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示



す)。主要6業種では、石油・石炭、コンピューター・電子機器、輸送機器、一般機械の4業種が力強くから緩やかに成長した。一方、縮小した業種は、木材製品、家具・同関連、紙製品、その他製造業、加工金属、食品・飲料・タバコ、化学製品の7業種に増加した（6月3業種）。

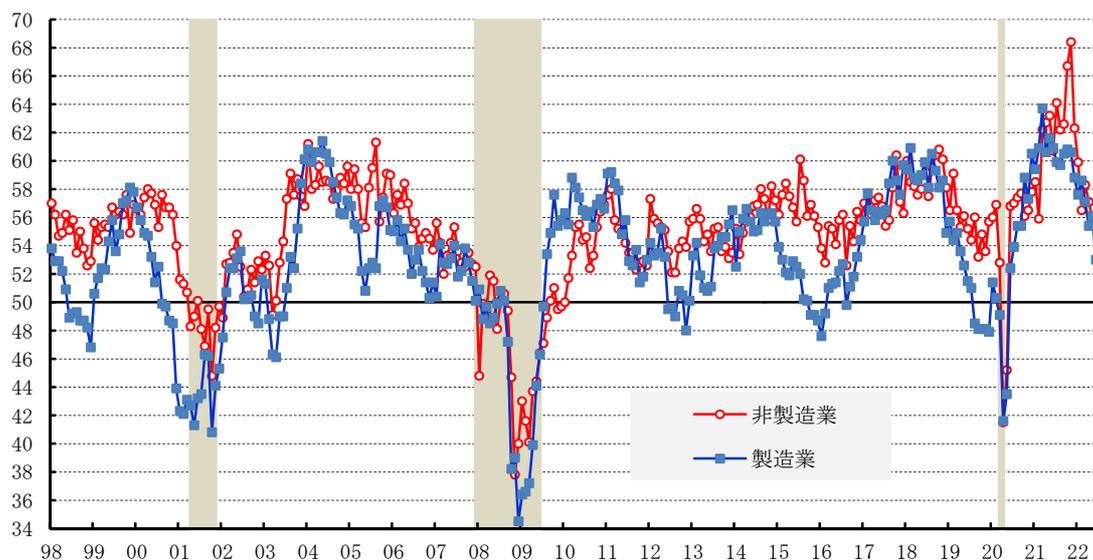
先行きに関して、新規受注が48.0（前月49.2）、受注残が51.3（前月53.2）と前月から低下したほか、基調としても低下傾向を辿っており、製造業部門の減速が当面続くと予想される。

I S M製造業景気指数

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
21/07	59.9	65.0	59.6	53.2	49.1	72.5	65.0	85.7	55.7	53.7
21/08	59.7	65.5	59.4	50.0	54.0	69.5	68.2	79.4	56.6	54.3
21/09	60.5	64.4	58.7	50.9	55.2	73.4	64.8	81.2	53.4	54.9
21/10	60.8	60.6	59.0	52.1	56.4	75.6	63.6	85.7	54.6	49.1
21/11	60.6	61.4	60.2	53.0	56.3	72.2	61.9	82.4	54.0	52.6
21/12	58.8	61.0	59.4	53.9	54.6	64.9	62.8	68.2	53.6	53.8
22/01	57.6	57.9	57.8	54.5	53.2	64.6	56.4	76.1	53.7	55.1
22/02	58.6	61.7	58.5	52.9	53.6	66.1	65.0	75.6	57.1	55.4
22/03	57.1	53.8	54.5	56.3	55.5	65.4	60.0	87.1	53.2	51.8
22/04	55.4	53.5	53.6	50.9	51.6	67.2	56.0	84.6	52.7	51.4
22/05	56.1	55.1	54.2	49.6	55.9	65.7	58.7	82.2	52.9	48.7
22/06	53.0	49.2	54.9	47.3	56.0	57.3	53.2	78.5	50.7	50.7
22/07	52.8	48.0	53.5	49.9	57.3	55.2	51.3	60.0	52.6	54.4

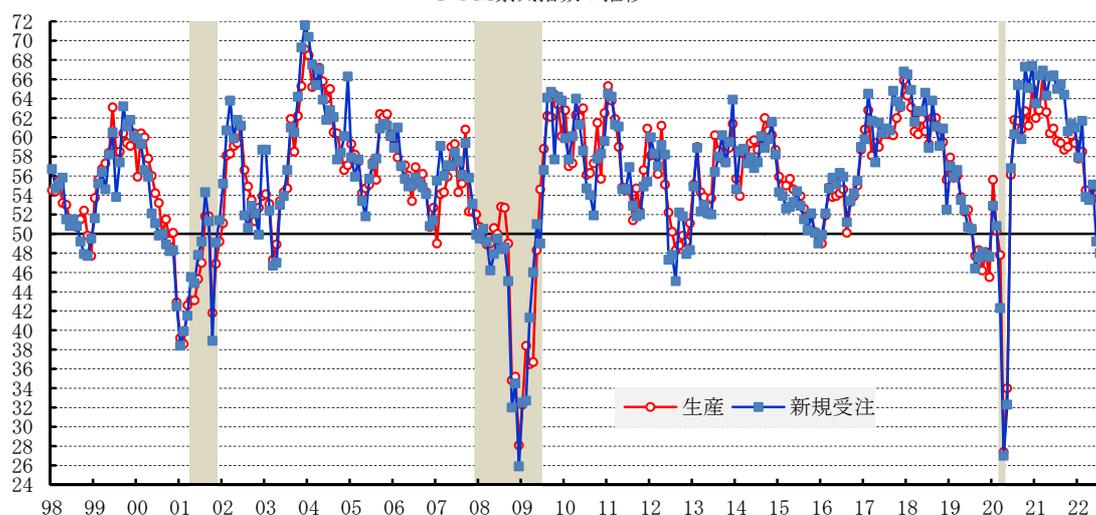
（出所）I S M : the Institute for Supply Management

I S M景気指数の推移



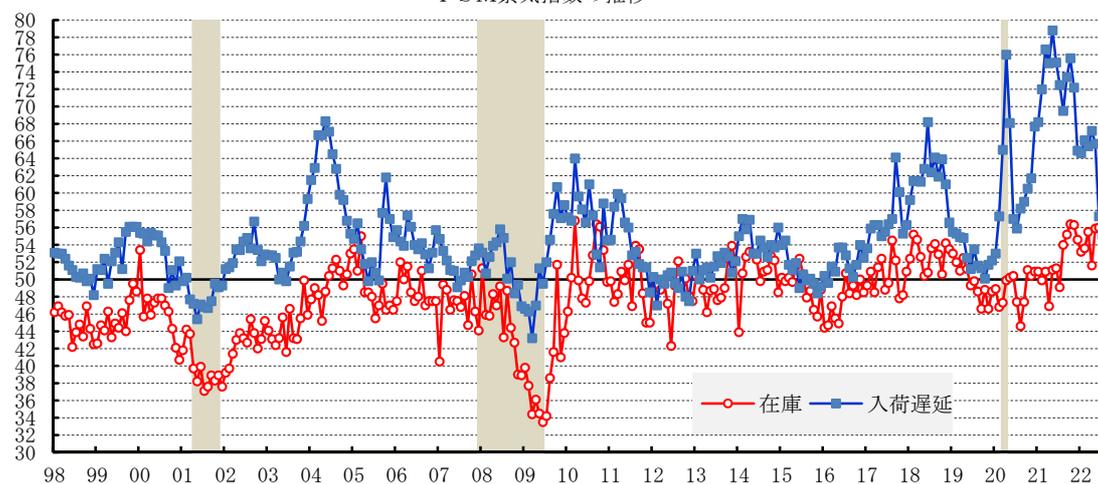
（出所）I S M （注）シャドー部は景気後退期

ISM景気指数の推移



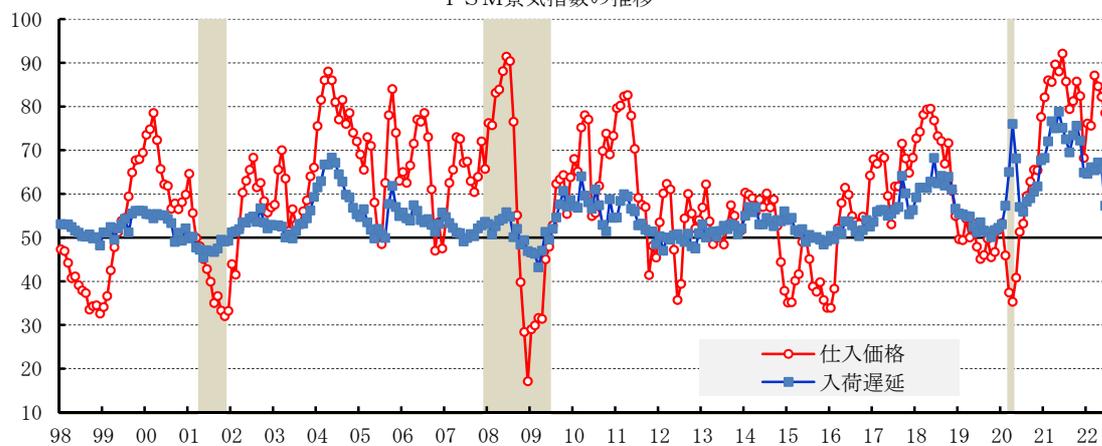
(出所) ISM (注) シャドー部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) ISM (注) シャドー部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) ISM (注) シャドー部は景気後退期

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

